

家庭学習の手引き

会津若松市立城西小学校

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。

家庭学習の習慣を

しっかりつけましょう！



自ら学ぶための環境をつくりましょう。

1. 学習する時間を確保しましょう。
(始める時刻を話し合って決めましょう。)
2. 子どもが学習したことに目を通しましょう。
3. 子どもが学習する時はテレビを消しましょう。
4. 規則正しい生活のリズムをつくりましょう。

家庭学習には、保護者の方のご理解とご協力が必要です。

- 教科書をすらすら読めるくらい音読をしましょう。
- ドリル（漢字・計算）を使って繰り返し練習しましょう。
- 中学年から自主学習にもチャレンジしてみましょう。

※学習が終わったら次の日の準備を！



※自主学習とは、学習したいことを自分で決め、計画的に行う学習です。

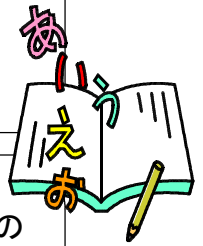
	低学年	中学年	高学年
時間のめやす	15分から 20分以上	30分から 40分以上	50分から 60分以上
こんなことを大切に	<ul style="list-style-type: none">○ 子どもがやり遂げられるように声をかけ励ます。○ 子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。 「よくがんばったね。」 「言われなくても勉強できたね。」 「ここをもう一回がんばってみよう。」○ 子どもが尋ねてきたら、できる範囲で応える。		

※ 家庭学習でつまずきが見られた場合は、学校または担任にご相談下さい。

各学年で身につけたい力ピックアップ（国語・算数）

【学習の基礎をつくる1年生】

- 鉛筆を正しく持って字が書ける。
- 学年配当漢字（80字）の全てが読め、8割の漢字が書ける。
- ひらがな、かたかなが読めて書ける。
- 助詞（て・に・を・は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- たし算・ひき算ができる。



【学習が楽しくなる2年生】

- 学年配当漢字（160字）の全てが読め、8割の漢字と前学年までの漢字が全て書ける。
- ゆっくり、正確に文章が読める。
- 順序よくお話ができる。
- かけ算九九がすらすら言える。
- 決められた長さの直線を定規を使って正しく引ける。
- たし算とひき算の筆算の計算ができる。

【学習の幅が広がる3年生】

- 学年配当漢字（200字）の全てが読め、8割の漢字と前学年までの漢字が全て書ける。
- 主語と述語の意味が分かる。
- 国語辞典が使える。○ローマ字の読み書きができる。
- 段落を知り、段落の中で大切な言葉や文を見つけられる。
- 段落をつけて文章が書ける。
- わり算ができる。○分数や小数の意味が分かる。
- 2（3）けた×1けた 2（3）けた×2けた かけ算の筆算ができる。
- はかりを使って重さが読める。

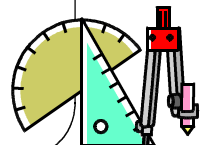


【学習がレベルアップする4年生】

- 学年配当漢字（200字）の全てが読め、8割の漢字と前学年までの漢字が全て書ける。
- 漢字辞典が使える。
- 指示語や接続語の働きを知り、正しく使える。
- 要点がまとめられる。
- かけ算、わり算の筆算ができる。
- 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- 分度器を使って角度の測定ができる。
- 正方形や、長方形の面積が求められる。

【じっくりと力をつける5年生】

- 学年配当漢字（185字）の全てが読め、8割の漢字と前学年までの漢字が全て書ける。
- 登場人物の心情をとらえる読み方ができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。
- 分母がちがう分数のたし算・ひき算ができる。
- 平行四辺形や三角形の面積が求められる。
- 割合・百分率を使った問題が解ける。



【中学校に希望が持てる6年生】

- 小学校で習った全ての漢字が読め、8割の漢字と前学年までの漢字が全て書ける。
- 文章を要約することができる。
- 学習した文章構成で、中心のはっきりした文章が書ける。
- 組み立てを考えたり、資料を使ったりして分かりやすく話せる。
- 分数・小数のかけ算・わり算ができる。
- 立体（直方体・立方体・角柱・円柱）の体積が求められる。

